

白子小学校保護者様

令和3年度 和光市立白子小学校 学力・学習状況調査結果について

5月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年対象）について本校の結果概要をとりまとめましたのでお知らせします。今後は、検証結果を基に学力向上プランを見直し、児童の更なる学力向上に努めてまいります。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

《各教科の概要》

【国語】

昨年度の調査はありませんでしたので、一昨年、調査を受けた5、6年生の結果を見ると、多くの児童がレベルアップしており、学年相応の伸びが見られました。その一方で、文章を読んで、自分の考えを書くことに課題が見られました。

全国学力・学習状況調査において児童が苦手とした問題

- ・目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つける問題
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題

<学校>では…

- ・月・木曜日の朝の「全校読書」では、静かな環境で読書を行い、「読む」ことへの集中力を養います。また読書や音読を通して、活字に慣れることで、読解力の助けとします。
- ・国語を中心にノートに自分の考えをまとめる方法を、発達段階に沿って指導する機会を設け、書く力を養います。
- ・授業の終わりには、「本時の振り返り」を書き、学びに向かう力を養います。

<家庭>では…

- ・お子様にはぜひ読書をすすめてください。読書は語彙をたくわえる力となります。
- ・三行作文でもいいので、作文をする機会を設けてください。作文は、初めは苦手でも何度も書いているうちに得意になります。「継続は力なり！」です。
- ・鉛筆の持ち方を確認してください。正しい持ち方をすると、書いている字が自分からも見やすく、間違いが減ります。また、手が疲れにくいので、文を長く書き続けることができます。

【参考】家庭で簡単にできる作文力アップの実践例①

～プレゼンしてみよう～



季節は12月、クリスマスが近づいています。クリスマスプレゼントを楽しみにしているお子様も多くいるのではないのでしょうか？
そこで来年度（今年度はもう遅いかな…）は、プレゼントのリクエストをプレゼン方式で行い、作文力アップにつなげます。

サンタさんへ
今年は〇〇がほしい
です。なぜかという
と××だからです。
〇〇をもらったら、
△△をして役立てた
いです。

しらりんより

【算数】

算数は、「数と計算」はどの学年も良好な結果でした。一方で4年生は「図形」、5・6年生は「データの活用」に課題があることがわかりました。国語でもお伝えしましたが、白子小の児童は問題文を読み、自分の考えを文章で表現することが苦手です。算数も同様で問題文が少しでも長くなると、正当率が下がります。また、自分の考えを式で説明することも苦手なようです。

日頃より、文章問題に慣れ、じっくりといねいに問題文を読むことが大切です。聞かれていることに素直に答えればいいのです。初めは大人がお子様と一緒に問題を解き、何を聞かれているのか考えてください。時間はかかりますが、慣れば子どもは自分で文章問題を解けるようになります。算数も「継続は力なり！」です。

<学校>では…

- ・今後も学年の発達段階に応じて、TT、少人数指導の体制を継続していきます。
- ・自分の考えを式や文章、図などで表す活動をすすめていきます。
- ・自分の考えを持ち発表したり、友達の意見を聞いて自分の考えを深めたりする、伝え合い活動を行います。そこで自分の考えが「なんとなくこうかな？」から論理的な思考ができるようにしていきます。
- ・放課後算数教室（3・4年を対象）を活用して、基礎基本が身につくようにしていきます。

<家庭>では…

- ・算数で学習したことを日常生活の事象と関連づけて使えるようにしてほしいです。
例 買い物の場面で、算数の見積もりを活用し、「3つの品物を買うとき、1000円で足りるか」を計算するなど、活用の機会を与えてください。
また、パズル（形の組み合わせなど）を普段からやっていると、図形の見方ができるようになり、得意になります。
- ・宿題の内容をご覧いただき、お子さんの得意、不得意を確かめてください。不得意であれば、一緒にやってあげてください。最後に「がんばったね！」や「勉強、楽しかったね！」と言ってあげると、お子さんは、やる気アップ、学力アップになります。

《質問紙調査結果の概要》

本校の児童は、「自己肯定感が高い」「地域の歴史や自然に関心を持っている」という特徴があります。自己肯定感に関しては、「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」という回答が多かったです。さらには「学校の友達に認められることは大事なことだ」という回答も多く、友達を大切にする心もあることがわかりました。

また、「時刻（登校時刻や授業開始時間）を守る」「返事をする」「進んでそうじをし、学校をきれいにしている」等の生活習慣がしっかりできているお子様が多いようです。

一方で、「進んであいさつをする」「話を聞き発表する」ということが苦手なようです。家族や学校の友達だけでなく、地域の方にも積極的にあいさつができるようにしていきたいです。話を聞くことや、発表することは、慣れていけるように学校でも練習していきます。

<学校>では…

- ・子どもたちのがんばりを褒め、励まし、自信をもって学習に取り組めるようにします。
- ・生活委員会を中心に、気持ちのよいあいさつをしていきます。

<家庭>では…

- ・ご家庭や地域でも気持ちのよいあいさつができるようにしてください。
- ・インターネット、携帯電話、スマートフォン等の約束をお子さんと確認してください。

